



つむぎ、  
つなぐ、  
演博  
一〇〇年。

早稲田大学坪内博士記念

**演劇博物館**

— Since 1928-2028 —

開館100周年記念事業募金ご支援のお願い

# ご挨拶

## 演劇博物館100周年に向けて



早稲田大学  
総長 田中 愛治

早稲田大学坪内博士記念演劇博物館は、2028年に100周年を迎えます。

演劇博物館(通称「演博(エンパク)」)を構想し創設へと導いた坪内逍遙は、早稲田大学の前身である東京専門学校創立時より、大隈重信、小野梓を助けて、早稲田大学の基礎を築きました。1927年に開設まもない大隈講堂で逍遙の最終講義が行われていますが、朗読を交えたシェイクスピア講義は、早稲田の名物でした。また校歌「都の西北」の作詞においても、「わせだわせだ わせだわせだ わせだわせだわせだ」の繰り返しは、劇作家でもあった逍遙の助言によって組み入れられました。

本学は2032年に創立150周年を迎えますが、それより4年ほど早く演劇博物館は100周年を迎えます。坪内逍遙が演劇博物館に結実させた「早稲田と演劇」の灯は、今日にいたるまで脈々と受け継がれてきました。それを未来にまで繋げてゆくことが、本学が念願とするところです。

大学の博物館が100周年を迎えるのも、我が国ではおそらく初めてのことでしょう。また、早稲田の「演博」は国際的にも有名で、世界各国の演劇研究者ならびに演劇研究を専攻する博士後期課程の大学院生が一度は演劇博物館を訪れると言われています。演劇博物館は、「早稲田と演劇」「早稲田の演劇」の拠点であり、「早稲田の文化」の象徴です。多くの貴重な資料や知見に基づいて、演劇文化と研究成果を国内外に発信すべく貢献して参ります。どうぞ、ご支援をお願い申し上げます。

此物容れ場が、早晚、  
わが国のために、  
又、世界列国のために、  
まさに来るべき新文化的要素を  
養ひ育てまする揺籃たるの役目を  
務めまする日のあるべきを  
私はひそかに期し且つ信じてをります。

1928年10月27日演劇博物館開館式における坪内逍遙の講演より抜粋



早稲田大学演劇博物館  
館長 児玉竜一

演劇博物館は、坪内逍遙の古稀の祝いと、生涯を賭した『シェイクスピア全集』全40巻の翻訳完成を記念して、1928年に建てられました。開館にあたって逍遙は、学外の土地ではなく学内に設置すること、図書館ではなく博物館であること、そして、その収集する対象は日本の演劇だけに偏らず、古今東西にわたることに強くこだわりました。

演劇に関わるものであれば、すべてを受け入れるという開放的な姿勢が、演劇博物館のあらゆる方針を支える思想になったと申せましょう。日本語で書かれた演劇文献の蔵書数、歌舞伎役者を描いた役者絵の所蔵点数は、いずれも世界一です。毎日のように増え続ける演劇ちらしやポスターも、未来のための貴重な資料です。

その一方で、この方針によって、増殖しつづける資料に追われることにもなりました。収蔵スペースをいかに効率的に活用するかという問題は、100年の歴史の過半にわたって継続してきました。本館では、1997年に役者絵画像を世界に先がけてインターネット公開し、2000年からは48000枚に及ぶ全点公開によって、世界中に貢献してきました。どのように公開すれば、新しい研究分野を開拓することができるのか、新しい研究の視角を見出すことができるのか。研究方法そのものの模索を待つ資料も、少なからずあります。

本館では、100年にわたって収集してきた資料を、未来に備えて整理するとともに、さらに開かれた資料環境のために、博物館としてどのようなことができるか、それを追及して参ります。整理のためにも、収蔵のためにも、公開のためにも、活用のためにも、皆様のご支援を必要としております。どうぞお力添えをお願い申し上げます。

# 100年の歴史と貴重な文化資源を未来へつなぐために

未来につなぐための「100周年記念事業」に、ご支援をお願いいたします。

つなぐ未来

## 次の100年

### 演劇映像文化の魅力を手もとに

いつでも、どこからでも、多様な演劇映像資料の魅力にふれられるように、バーチャルな楽しさと、実物展示の魅力を追求します。

### デジタル人文学研究の基盤に

高度なデータベースを提供し、演劇映像学、文学、歴史、美術、アーカイブ、デジタル人文学など幅広い研究利用を可能にします。

## 演劇博物館のはじまり

1928年(昭和3年)10月、坪内逍遙博士の古稀(70歳)と博士の半生を傾倒した「シェークスピア全集」全40巻の翻訳完成を記念して各界有志の協賛により設立されました。

建物は坪内逍遙の発案で、16世紀イギリスの劇場「フォーチュン座」を模して設計され正面舞台には「Totus Mundus Agit Histrionem」 「全世界は劇場なり」を意味するラテン語が掲げられています。



## 坪内逍遙(1859-1935)

明治から昭和にかけて、演劇・文学・舞踏・児童劇・美術・教育等の多方面に亘って、革新的、先駆的な業績を残しました。早稲田大学の前身である東京専門学校(現早稲田大学)の講師となり後に早稲田大学教授を務めます。演劇博物館設立を構想し、「逍遙選集」等の著書印税の他、自宅の土地建物などの財産を大学に寄付して尽力しました。



過去と未来をつなぐ課題 2028

## 100周年記念事業

### 収蔵資料の適切な維持・保管



- 収蔵スペースの改修/増設
  - ・ 集密書架増設工事
- 貴重映像資料のデジタル化

マグネティックテープ(リールテープ、カセットテープ、VHSテープ、ベータテープなど)は再生機器の製造停止により今後再生不能となるため早期のデジタルが必要。演劇博物館では当該貴重テープを1,000本以上所蔵しています。

### 収蔵資料の海外を含めた積極的発信

- 貴重資料の公開促進
  - ・ 100周年記念展示会の開催
  - ・ 資料のデジタル公開促進
- 多言語化の促進
  - ・ 各種資料公開の多言語対応
- 演劇映像アーカイブ手法の開発

つむぐ歴史

1928

## 100年の歴史

### 博物館として

### 収蔵資料(コレクション)と展示

坪内逍遙博士による「古今東西の演劇資料の収集」理念に沿い、設立以来、国内外の演劇・映像の貴重な資料を収集し100万点以上を収蔵。国内および海外への出展も多く行っています。

### 研究所として

### 演劇研究・日本文化の発信

演劇研究の拠点として多くの公的研究事業を担い、研究成果を海外含めて広く発信してきました。



常設展に加えて年2回の企画展を開催し、広く一般に向けて公開しています。



大英博物館(イギリス)「新富座妖怪引幕」出展「The Citi exhibition Manga」(2019年5月~8月)



シンポジウム JAPAN HOUSE LONDON

### 演劇博物館データベース一覧

- 浮世絵データベース (47,530)
- 演劇上演記録データベース (107,950)
- 舞台写真データベース (284,539)
- 3D データベース(坪内博士記念演劇博物館) (107)

- 近世芝居番付データベース (54,145)
- 歌舞伎台本データベース (10,411)
- 現代能狂言上演記録データベース (16,012)
- 浄瑠璃本データベース (3,137)
- 中村座日記データベース (4,434)
- 浄瑠璃丸本・歌舞伎番付字形データベース (165,931)

- 近松没後義太夫筋人形浄瑠璃初演作品データベース (611)
- 雑誌「能楽」(1902-1921) データベース (4,555)
- 能楽タイムズ上演データベース (148,075)
- 「許多脚色帖」データベース (3,612)
- 川崎九瀬コレクション 目録データベース (310)
- 風俗資料貼込データベース (933)

- 日本舞台芸術オーラル・ヒストリーデータベース (9)
- 坪内逍遙上演劇材料貼込データベース (48)
- 戯曲データベース(EPAD事業・Japan Digital Theatre Archives) (553)
- 舞台衣装データベース (159)
- 新型コロナウイルスと演劇年表データベース (2,157)
- 企画展「演劇人 坪内逍遙」データベース (272)

- 九州地区劇団占領期GHQ検閲台本(デザイナー・コレクション) (8,312)
- 伊藤道郎関連資料データベース (3,582)
- 舞台装置関連資料データベース (1,273)
- 映画写真データベース (74,279)
- 映画館プログラムデータベース (10,897)
- 草創期テレビ台本データベース (185)

- 成人映画チラシ・プレスシート資料データベース (982)
- 写し絵データベース (452)
- 幻燈データベース (1,380)
- 幻燈販売目録データベース (33)
- 立正活映データベース (88)
- AV資料データベース (25,180)

# 「演劇博物館開館100周年記念事業募金」募集概要

## 募集要項

募集対象	本記念事業募金の趣旨にご賛同いただける個人様・団体様・法人様
募集金額	1口1万円(1万円未満のご寄付につきましても有り難くお受けいたします。)
募集期間	2025年4月～2029年3月

## 顕彰

### 銘板へのご芳名の刻印

個人様・団体様は10万円以上、法人様は50万円以上のご寄付により、演劇博物館内に設置される寄付者銘板にご芳名を刻印し、末永く顕彰させていただきます。



※銘板設置イメージ

## ご寄付の特典

「演劇博物館開館100周年記念事業募金」へ一定額以上のご寄付を賜りました個人様を対象に銘板に加えて各種特典をご用意しております。

<b>1万円以上の場合</b>  オリジナル和紙風 クリアファイル	<b>3万円以上の場合</b>  オリジナル トートバッグ	<b>5万円以上の場合</b>  オリジナルロゴ入り CROSS ボールペン
<b>10万円以上の場合</b>  オリジナルロゴ入りRiedelペアグラス	<b>100万円以上の場合</b>  オリジナル江戸切子グラス(ペア) + 100周年記念催事へのご招待(※) + 100周年記念展示 特別観覧へのご招待(※) (展示解説付き)	
<b>30万円以上の場合</b>  オリジナル 江戸切子グラス (シングル) + 100周年記念 催事へのご招待(※)		

※100周年記念催事および記念展示に関する詳細は追って個別にご連絡いたします。

- 各特典は1回の寄付金額に相当する品物をお送りいたします。※特典の品物は全て特注のため、発送までお時間をいただく場合がございますのであらかじめご了承ください。
- クレジットカード決済において「毎月寄付する」をご選択いただいた場合の特典は、年度内(4月1日～翌年3月31日)のご寄付の累計金額に相当する品物を翌年4月以降にお送りいたします。
- 特典はご入金確認後準備が出来次第、領収書とは別に発送いたします。
- ※インターネットを通じたお申込みの場合は、各カード会社・収納会社より本学への寄付金が入金された後のお送りとなります。
- 特典は全て非売品です。

## ご寄付のお申込み方法

### パソコン・スマートフォンから

#### ■ インターネットを通じた簡単・便利な寄付

24時間  
365日受付



クレジットカードおよびインターネットバンキング(ペイジー)、コンビニ決済、PayPay、Amazon Pay、携帯電話キャリア決済をご利用いただけます。パソコン・スマートフォンからアクセスし、場所や時間を問わず簡単にお申込みいただくことが可能です。

演劇博物館 寄付 で検索、もしくは右上の二次元バーコードよりアクセスしてください

- 1 『寄付する』ボタンをクリック
- 2 『下記の条件に同意し「寄付を申し込む」』ボタンをクリック
- 3 申込者様の情報を入力し、画面の指示に従ってお申込みください

### 専用振込用紙による寄付

#### ■ 下記の金融機関は振込手数料が原則無料です

銀行または  
郵便局  
でのお振込み

銀行またはゆうちょ銀行・郵便局用振込用紙に必要事項をご記入のうえ、銀行または郵便局でお振込みください

- 三菱UFJ銀行
- りそな銀行
- 三井住友銀行
- みずほ銀行
- ゆうちょ銀行

## 寄付金に対する税制上の優遇措置



※1: 税額控除制度を選択した場合です ※2: 個人住民税の控除の有無は自治体によって異なります ※3: 寄付金の住民税控除率は自治体によって異なります ※4: ご寄付された年の翌年度の住民税から控除されます

合計約14,000円の減税に!(最大約40~50%の減税効果)

控除額は年間の所得金額や寄付金額等によって異なります。詳しくは寄付ウェブサイトをご覧ください。





早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

03-5286-1829(平日9:00~17:00)

<https://enpaku.w.waseda.jp/>

✉ [enpaku@list.waseda.jp/](mailto:enpaku@list.waseda.jp/)

📘 [@WasedaU.ENPAKU/](#)

✂ [@waseda\\_ENPAKU](#)

📷 [@waseda\\_enpaku](#)